

【2-14 該当部分書き下し文】

一下拙儀は、(十月)当月六日より御番所へ相詰め、八日ニ罷り帰り申し候。六日の夜は、御玄猪ニ而惣御登城故、別而やかましく、土左衛門殿御詰ニ而、何角御心遣い候ニ而御座候処、天氣等も宜しく、滯りなく相済み候而、御悦び成られ候。



こんな内容が書かれています。

拙者は、当月6日より御番所に詰め、8日に帰りました。6日の夜は、御玄猪げんちよで總登城だったので、特にやかましく、土左衛門殿がお詰めになり、何かとお心遣いしましたところ、天気などもよろしく、滞りなく済みましたので、お悦びになりました。